

安全データシート (SDS)

製品及び会社情報

製品名 モノタロウ 金属ガード
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M160324

作成日 2016/03/23

危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性／引火性エアゾール 区分 1
引火性液体 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性（経口） 区分 5
皮膚腐食性、刺激性 区分 2
眼に対する重篤な損傷、刺激 区分 2
呼吸器感作性 区分 1
皮膚感作性 区分 1
生殖毒性 区分 1B
特定標的臓器、全身毒性（単回暴露） 区分 1（中枢神経系、呼吸器、腎臓、肝臓）
特定標的臓器、全身毒性（反復暴露） 区分 1（中枢神経系、末梢神経系、呼吸器）

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性） 区分 3

※上記の項目で「区分外」、「分類できない」、「分類対象外」のいずれかに該当するものは記載省略。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

極めて可燃性、引火性の高い液体
引火性の高い液体および蒸気
飲み込むと有害の恐れあり
皮膚を刺激する
眼を強く刺激する
生殖機能または胎児への悪影響の恐れあり
吸引により臓器（全身毒性、神経、腎臓、視覚器、呼吸器、麻酔作用）の障害
長期にわたる、または反復暴露、吸引により臓器（視覚器、神経、抹消神経系、脾臓、血管、肝臓）の障害
水生生物に非常に強い毒性あり
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性あり

注意書き

応急措置 p.2 に記載
 取り扱い p.2 に記載
 保管 p.2 に記載
 廃棄 p.4 に記載

組成、成分情報	成分及び含有量 国連番号及び国連分類 消防法 労働安全衛生法 P R T R 法	有機溶剤、合成樹脂、青色染料、噴射剤(DME) クラス 2.1、1950 第4類第1石油類 危険等級II 通知対象物：キシレン（10～20%）、 メチルエチルケトン(MEK)（30～40%） 有機溶剤中毒予防規則 第2種：キシレン、MEK 第1種指定物質 キシレン（政令番号 80） フタル酸ビス(2-エチルヘキシル) （政令番号 355）
---------	--	--

応急措置	吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。必要なら医師の手当を受ける。 飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。無理に吐かせない。医師の手当を受ける。 眼に入った場合 : 水でよく洗う。コンタクトレンズを装着している場合、固着してなければ外してから洗浄する。医師の手当を受ける。 皮膚にかかった場合 : 水と石けんで十分洗う。衣類が濡れた場合、直ちに着替える。濡れた衣類を再着用する場合は洗濯する。皮膚への刺激が強い場合、医師の手当を受ける。
------	--

火災時の措置	消火方法：速やかに容器を安全な場所に移す。 保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡等）を着用する。 風上から消火する。 初期の消火には下記の消火剤を用いる。 消火剤 霧状の強化剤、泡粉末または炭酸ガス消火器。棒状の水を使用しない。
--------	---

漏出時の措置	保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用する。 風上から作業する。 砂、おがくず、ウエス、新聞紙等に吸い込ませて、回収する。 土壌、河川、湖沼、海、下水道等に流入しないように注意する。
--------	---

取扱いおよび 保管上の注意	関係法令の定めるところによるほか、以下の点に注意する。 取り扱い 炎、火花または高温体との接触を避ける。 常温で取り扱い、その際、ミストの吸入、接触に注意する。 保管 屋内の直射日光が当たらない涼しいところで保管する。 ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触、同一場所での保管を避ける。
------------------	---

暴露防止措置	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">管理濃度</th> <th style="width: 20%;">日本産業衛生学会</th> <th style="width: 20%;">ACGIH(TLV-TWA)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キシレン</td> <td>50ppm</td> <td>50ppm</td> <td>100ppm</td> </tr> <tr> <td>MEK</td> <td>200ppm</td> <td>200ppm</td> <td>200ppm</td> </tr> </tbody> </table> 設備対策 発生源の密閉化、または排気装置を設ける。 呼吸用保護具 必要であれば防毒マスクを着用する。 保護眼鏡 必要であれば普通型眼鏡を着用する。 保護手袋 長時間、または繰り返し接触する場合、耐油性のものを着用する。 保護衣 長時間にわたって取り扱う場合、または濡れる場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。		管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)	キシレン	50ppm	50ppm	100ppm	MEK	200ppm	200ppm	200ppm
	管理濃度	日本産業衛生学会	ACGIH(TLV-TWA)										
キシレン	50ppm	50ppm	100ppm										
MEK	200ppm	200ppm	200ppm										

物理／化学的性質	外観等 臭気 揮発性 蒸気圧 密度 溶解度	青色液体 溶剤臭が強い。 強い データなし 0.83g/cm ³ 水に不溶
危険性情報	引火点 発火点 爆発限界 可燃性 自然発火性 酸化性 自己反応性 安定性 反応性	-7℃ 505℃ 1.1～11.5% 液体は揮発性が強く、引火しやすい。 蒸気は低所に滞留し、地表面に添って移動し、着火源があると引火爆発を起こす恐れがある。 なし なし なし 安定 強酸化剤との接触を避ける。
有害性情報	刺激性 急性毒性 発がん性 感作性 変異原性 催奇形性 生殖毒性	皮膚 : 刺激を引き起こす。繰り返しの接触により皮膚が脱脂され炎症、痛み等が生じる。 眼 : 刺激する。 呼吸器系 : 蒸気またはミストの吸入により呼吸器系に刺激を引き起こすことがある。 MEK : 経口 LD ₅₀ >2,000mg/kg(ラット) : 経皮 LD ₅₀ >2,000mg/kg(ウサギ) : 吸入 LC ₅₀ >20mg/L/4hr(ラット) キシレン : 経口 LD ₅₀ =3,500mg/kg(ラット) : 経皮 LD ₅₀ >4,350mg/kg(ウサギ) : 吸入 LD ₅₀ =29mg/L/4hr(ラット) 蒸気を吸入すると有機溶剤中毒や健康障害(吐き気、頭痛、めまい、嘔吐、知覚異常、昏睡、意識喪失等)を起こす危険性がある。連続した吸入により、意識を失い、死に至ることもある。 液体を飲み込むと肺に吸収されて化学性肺炎を起こし、胃腸刺激や吐き気、嘔吐、下痢等を起こす可能性がある。 キシレン : IARCにおいてグループ 3に属する。 キシレン : 長期間反復接触で皮膚が感作される。 キシレン : エーエムテストで変異原性なし キシレン : 致死量に近い投与量で催奇形性あり。 MEK : 軽度の胎生毒性を引き起こす。この作用は使用量が多い時のみ見られた。出生率の低下はないと思われる。
環境影響情報	動植物、鳥類、昆虫、水棲生物、微生物等に悪影響を与える可能性がある。 自然環境にとって有害であり悪影響を及ぼす可能性がある。 よって自然環境中(土壌、河川、湖沼、海等)に排出しない。 魚毒性 蓄積性 分解性	MEK : LC/EC/IC50> 1000mg/L キシレン : LC ₅₀ (ppm) 32/3h(ミジンコ), 56/48h(コイ) MEK : 顕著な蓄積性はないと考えられる。 MEK : 10日間の時間帯基準で容易に生分解される。 空気中の光化学反応により迅速に酸化する。 キシレン : 化審法安全性点検結果で分解性は良好

